



Milk Hall Times 24th

THE LAST PARTY

at Milk Hall

ミルクホールでは、毎年その年最後の月の最後の土曜日の夜に "THE LAST PARTY" (本当に最後の、又は最高のパーティ) と題して、ミルクホール主催の最高のイベントであるパーティが開かれます。今年の最後の土曜日は、大晦日にあたりますので今年は一週間繰り上げてクリスマス・イヴの夜をミルクホールの最後のパーティとさせていただきます。この夜ばかりは、ミルクホールの従業員も、マスターも仲間達も古顔も新顔も皆集まって楽しく遊びます。どうか始めての方達もどんどん仲間に入って楽しんで下さい。去年は、フラメンコのダンサーを招いて熱く盛り上がりましたが今年は、ヴァイオリンとピアノの甘く、楽しく、もの悲しい音色をじっくりお楽しみ下さい。ミルクホールの音楽はいつもジャズばかりですが、この夜だけは古きも新しきも素敏な音楽でいっぱいです。Bar Roomでは、好評のルーレットゲームも用意しています。生演奏、ダンスタイム、お料理にお酒など深夜まで、ミルクホールの一年に一夜のナイトクラブを存分にお楽しみ下さい。

1988 Merry Xmas 24th Xmas Eve

PM 6:30 open ~ midnight

ライブ PM 7:00~
ヴァイオリン&ピアノ
カジノ OPEN PM 7:30
ルーレット ゲーム
PM 11:30~ FREE TIME

FEE MAN ¥4500
LADY ¥3500

お問い合わせ、お申込みはカウンターまでお申し付け下さい。



INFORMATION

今年も一年間ミルクホールを愛して下さった御客様、本当に有り難うございました。なんとかミルクホールの1988年が無事過ぎていこうとしております。

又、ミルクホールタイムスご愛読有り難う御座いました。毎月一回のはずのミルクホールタイムスですが、今年も又何度か発行を見送る月が有りました事を心よりお詫言いたします。来年の話をすると鬼が笑うと申しますが、鬼に笑われても来年こそは毎月の発行を目標に頑張りたいと思っております。だんだんと世の中のニュースも暗い影を帯びて来ています。ミルクホールタイムスも例外ではなく、楽しい話題ばかりではありませんが、ミルクホールも、もう15才です。様々な時代をたくましく生きていきたいと思っております。

来年1月からは、土曜日にミルクホールで夜を過ごされる若い恋人達の為に、又ご夫婦で、お一人で、お友達と過ごされる方達の為に、甘い調べのヴァイオリンの演奏をお贈り致します。他にもたくさん楽しい企画を考えております。是非ご期待下さい。

★ミルクホールタイムス定期購読者を募集しています。ご希望の方は申込み用紙に60円切手12枚又は720円を添えてお申込み下さい。又、定期購読ご希望の方には創刊号より24号までをご希望により編集してお送り致します。ぜひお申し付け下さい。ミルクホールタイムス編集部より

THE EARTH

危機

・・・もしかしたら、自分達がこの世界に生きた最後の人類になるのでは？
というような、何ともいいようもない不安を抱いている人はいませんか？

遠い遠い遙か昔に、私達の祖先は"火"を見つけ、道具を使う事を知り、牙を持たない弱い動物が、この地球上でやっと生きぬく事を知りました。人間達は気が遠くなるような長い間この母なる大地について考え、歴史は繰り返され、ついに大地はひとつの球体である事を、発見しました。この真実をその目で確かめるべく、勇敢に船出した冒険者達。それは、まさに無事帰る事を許されぬかのような、大海を渡り、未だ見ぬ大陸を横断しようとする無謀な危険に満ちた冒険でした。しかしこの真実をその目で確かめた時、人類最高の発見をした時の喜びはどんなだったでしょうか。後に続いた人間達は生き生きと地球を走り駆け巡り、どんなにかこの地球と言う星に生れた幸せを噛みしめた事でしょう。この発見をきっかけに人類は長い間の迷信から解放され、この地球の謎をひとつひとつ解き明かしていきました。この新しく生まれ変わった時代に、科学者、数学者、物理学者、医学者・・・あらゆる学者たちは真実を追求する喜びに満ちていました。

それが、一体どうしてこんな事になってしまったのでしょうか。医学者は、ひとつの難病について何かの発見をすれば、すぐにもうひとつの原因不明の難病を発見してしまいます。科学者の新しい発見は地球上の何かの異変についてです。何かを発見しようとするれば、生物の異変や、気象の異常や、大地や海や私達の愛してやまないものが、何かに蝕ばれ、侵されつつあるという事実。本当は私達はこの地球について何もわかってはいなかったのではないのでしょうか。私達人間についてすら本当は何もわかってはいなかったのではないのでしょうか。人間は幾度となく過ちを犯し、残忍な戦争や殺戮を繰り返し、自らが傷つき、疲れはて、変わり果てた故郷の前で何度呆然と立ちつくした事でしょうか。しかしその度に大地は何もなかったかの様に芽をふき、太陽はすべての生き物に暖かい光を投げかけもう一度生きる勇気を与えてくれました。

今や地球上の科学者たちは頭を寄せあって、いかにこの地球を救うのかを必死で考えています。

もしも、私達が本当に最後の人類になるとしたら・・・
それでも最後のその日まで、人間にも動物にも地球上の生き残った全ての生物にいつもと変わらず、新しい生命が誕生する事でしょう。

その新しい命が一日でも永くありますように
この美しい地球が一日でも永くありますように
そして私達が最後の人類にふさわしく

この地球を守るべく勇敢でありますように・・・